

平成29年1月17日

保護者の方へ

鳴門教育大学附属小学校長 安田 哲也

### アタマジラミについて (お知らせ)

平素は、本校の学校保健活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、1月に入り複数の児童がアタマジラミに感染したという報告がありました。

アタマジラミは、年間を通して発生します。アタマジラミは、色々なところにおり、簡単にうつります。不潔にしているから、なるものではありません。清潔にしていれば、ならないのでもありません。

毎日頭を洗っていても、なります。帽子やブラシ・タオルを貸し借りしたり、遊んでいる時に頭を寄せ合い髪の毛と髪の毛がふれあったりすると、卵・虫がうつります。

お子さまの髪の毛にアタマジラミの卵がついていないかどうか、ご確認ください。初期には、かゆみを訴えることは少ないため、かゆがっていても、いなくても、必ず髪の毛をご確認ください。

詳しくは、裏面をご覧ください。

<アタマジラミの卵の見つけ方>

虫は見つけにくいので、卵を探します。髪の毛にツルツルした光沢のある白いものがついていれば卵を疑ってください。似ているものはフケですが、見分けることはできます。よく分からない場合は、小児科・皮膚科の受診をおすすめします。

フケ	指で触れば、髪の毛からとることができます。
シラミの卵	しっかりと髪の毛にくっついており、なかなかとることができません。

<アタマジラミを見つけた場合>

薬局で専用の櫛やシャンプー・パウダーを購入すれば、駆除することができます。皮膚科を受診するのも良い方法です。

冬は、頭や首回りを覆う衣類を着用することが多い上、それらの素材は虫や卵がつきやすいので、防寒着の襟やフード、マフラーなどの衣類から頭にアタマジラミが頭に戻る場合があります。アタマジラミを見つけたら、必ず着用した衣類を洗濯してください。なお、アタマジラミは頭皮を離れて3日もすると死んでしまうので、洗濯が難しい衣類は、他の衣類と離して袋等に入れ、3日以上経過してから着用させてください。また、シーツや枕カバー等の寝具についても洗濯をお願いいたします。

アタマジラミは集団発生した場合を除いては学校感染症に指定されていないため、感染しても登校できますが、感染把握・拡大防止のために、担任もしくは養護教諭まで感染した旨をご連絡ください。

どんなに清潔にしている場合でも、集団生活をしていればアタマジラミなどの感染症に感染する場合があります。学校は集団生活の場です。みんなで早期発見・早期駆除を心がけ、感染を最小限に食い止めていきましょう。